

**<第1部：デジタルヘルス> 2024年2月27日（火）9:30-12:00（9:15開場）**

9:30	開会のご挨拶（在日米国大使館 商務部 アラン・ターリー 商務公使）	
9:35-9:55	<p><b>&lt;基調講演&gt; An overview of the good, the bad and the ugly of health tech in the U.S.</b>  <b>Co-Founder, Health2.0 Conference</b>  <b>&amp; Founder, The Health Care Blog</b>  <b>Matthew Holt</b></p> <p>Health 2.0 カンファレンスの創設者であり、30年以上の間ヘルスケアやデジタルヘルス分野でアナリストや戦略家としてキャリアを積んでいる マシュー・ホルトが、昨年1年間の米国におけるヘルステックの良い点、悪い点、そして醜い点に至るまで概観します。ベンチャーキャピタル市場の状況には「醜い」側面もあったことを実直にお伝えし、医療システムがテクノロジーを活用したりしなかったりという「悪いこと」もあれば、AIの活用が急速に加速しているという「良いこと」まで、幅広い視点で米国市場の動向をお伝えします。</p>	
9:55-10:25	<p><b>開発研究・品質試験におけるデジタル化の重要性</b>  <b>アジレント・テクノロジー株式会社</b>  <b>ラボラトリーソリューション本部 クロマトグラフィー・質量分析営業部門</b>  <b>ラボインフォマティクス営業部 マネージャー</b>  <b>小林 聡和</b></p> <p>技術が高度化し、より精密で迅速な判断が求められる現在、高度なデジタル技術の活用は必須な状況です。特にヘルスケア企業の成長には、開発研究や品質試験における DX 投資が要因の1つとなっています。本講演では企業を成長させる、デジタル技術を利用したアジレントの DX ソリューション“Digital Lab”について紹介します。</p>	
10:25-10:55	<p><b>テストシナリオの自動生成で加速する医療機器のユーザーエクスペリエンス検証</b>  <b>キーサイト・テクノロジー株式会社</b>  <b>電子計測ソリューション事業部 ビジネスディベロップメントマネージャ</b>  <b>小室 行央</b></p> <p>医療機器での予期せぬ不具合を回避するために、ハードウェア・ソフトウェアともに合理的で正確な評価・検証が求められます。本講演では、人海戦術的に行われている医療機器ソフトウェアのユーザーエクスペリエンス検証時間を大幅に削減するとともに評価の信頼性を高める AI を活用した検証ツールを事例とともにご紹介します。また、高解像度画像データの処理や外部機器との通信が要求される医療機器のハードウェア設計に役立つ電子計測器やシミュレータもご紹介します。</p>	
10:55-11:25	<p><b>ヘルスケアのためのジェネレーティブ AI</b>  <b>Google Health Japan</b>  <b>Clinician Scientist and Lead</b>  <b>Dr. Joe Ledsam MD</b></p> <p>ジェネレーティブ AI は、患者、介護者、地域社会がヘルスケア情報との接し方を変革しようとしています。しかし、すでにどのような方法でジェネレーティブ AI が使われているのだろうか？また、ヘルスケアにおけるモデルが安全で正確であることをどのように確認できるのでしょうか？本講演では、この分野のトレンドを探り、ヘルスケア向けのジェネレーティブ AI モデルを開発するグーグルの取り組みについて説明します。</p>	
11:25	閉会のご挨拶	
11:30	ネットワーキング・懇親会	

【お問合せ】 米国大使館 商務部 デジタルヘルス産業担当 杉浦 (akiko.sugiura@trade.gov)